



1期4年、最後の
GO! 剛! ニュースは
17号です。時代の潮流と
宗像に吹く風をつかんで
明日の宗像を考えます。

GO! 剛! NEWS!!

政務調査報告書

第17号

民間企業の活力利用を!

1990年代後半以降、公的部門の肥大化、効率性低下、財政赤字拡大といった問題を背景に、民間部門を活用し公共サービスの効率的提供という視点から、官から民へ、規制緩和と官民協働の取り組みが推進されてきました。2014年以降、地方創生においては、民間の力をいかに引き出すかが成功の鍵と考えられ、日本社会は人口減少、超高齢化社会という課題に直面し、構造的な転換期を迎えていると同時に、地方行政もこれまでの事業に捉えられない発想的な転換期を迎えていると言えます。

しかし、伝統的な行政のスタンスは、公平性、平等性を基本として、法令や手続の遵守によりニーズに迅速に対応できない傾向があり、今後は民間企業の活力利用により、今まで行政が生み出すことのできなかった新しい機能や価値の創造を求めるべきと考えます。前例にとらわれずに企業を共通の目的を達成するためのパートナーとして積極的に活用する、目標達成に最適な企業を選びスタートアップし、利益を生みメリットが実感できる仕組みを作り上げ、継続は企業に任せる。世界遺産をはじめ宗像に風が吹いている今、限られた財源や時間の中で最大限の成果を上げるために、積極的な民間企業の活力利用を行うべきだと提言しています。

現状の企業との連携は?

団地再生、国際環境100人会議、世界遺産といった宗像に風が吹いている事業において、UR、東レ、日本航空、しゃぼん玉石けん、新日鐵、三菱商事、麒麟ビール、日本HP、遠賀信用金庫などの企業と連携をしています。

特筆すべきは株式会社グローバルアリーナと一般財団法人サニックススポーツ振興財団です。市民の憩いの場やスポーツ観光、インバウンド観光、MICE誘致につながる存在価値を持ち、主催、協力するイベントは年間109に上ります。ラグビー W杯キャンプ地誘致において、他都市が数千万円使ってエージェンツに依頼しているのに対し、宗像市はグローバルアリーナの人脈とラグビー界への貢献だけで誘致活動を進めることができています。この価値を理解し、さらなる連携が必要だと考えています。



グローバルアリーナではラグビー、サッカーワールドユースの世界大会や次世代リーダー養成塾などまさにグローバルなイベントが行われています。

ラグビー日本代表が何度も合宿を行った実績はワールドカップキャンプ地誘致に、ブルガリアフェスティバルや国際新体操大会の開催はオリンピックのブルガリア新体操チーム誘致につながっています。

海でつながる共通の レガシー(未来への贈り物)を

8月に行われた第三回宗像国際環境100人会議、平成29年度開催される全国豊かな海づくり大会、そして登録を目指している世界遺産、宗像・沖ノ島と関連遺産群は海という共通項があります。

今回の100人会議は海の環境保全について地域自ら考え行動し発信するしくみである「海の環境保全宗像モデル」を作り上げ、その成果を豊かな海づくり大会でさらに発信し、次世代へつなげるきっかけとする、という方向性を持っています。そして宗像・沖ノ島と関連遺産群は古代よりその海と共に生きた宗像海人族が信仰を受け継ぎ自然を守ってきた文化的伝統を普遍的価値としています。

ここに宗像独自の共通するレガシーを求めるべき、と考えます。環境という幅広い課題を、宗像海人族の時代から海とともに培ってきた自然観、食文化、信仰、そういう宗像の伝統文化を通して考える必要があり、過去に存在し宗像人の中に根づいているもの、それが現在に必要とされて未来のレガシーになるのではないかと、そして、私たちがアイデンティティーを考えることは、宗像人のブランディングにつながり、子どもたちが人生の荒波をくぐり抜けるときのコンパスになるのではないかと、考えています。

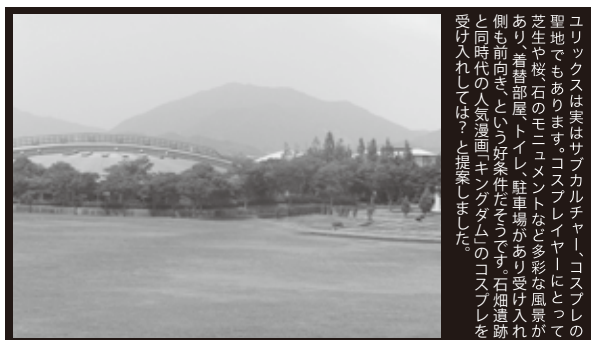
田熊石畑遺跡

「世界遺産発祥の地」といわれる田熊石畑遺跡は、昨年7月のオープンから9ヶ月間で2万6千人、と他都市の遺跡公園と比べ多くの来園者があり、いせきんぐ村っこづくりの寺子屋事業や弥生人暮らし体験の体験学習といったソフト事業が行われています。また、村づくりの会のグリーンキーパー、本来の業務外である除草作業により管理運営費を抑え、良好な公園環境が保たれており、理想的な市民協働の関係だと感じています。

今後の更なる活用のため、東郷高塚古墳のある日の里地区コミュニティとの協働や公園利用の働きかけ、コスプレイベントの受け入れを提案しました。



石畑遺跡は国庫の補助と特例債で整備費用の85%をまかなう。シルバー人材センターやグリーンキーパーの皆様の努力によりランニングコストを抑えて効率的な運営を行っています。今後、多方面での活用が望まれます。



ユリックスは実はサブカルチャー、コスプレの聖地でもあります。コスプレイベントにまつて、芝生や桜、石のモニュメントなど多彩な風景があり、着替部屋トイレ、駐車場があり受け入れ側も前向き、という好条件です。石畑遺跡と同時代の人気漫画「ヤングダム」のコスプレを受け入れては？と提案しました。



www.non3.jp/yoshidago/
facebook.com/goyo4da
goyo4da@gmail.com
@goyo4da

一般質問の会議映像は宗像市役所ホームページで見ることができます。日々の活動はfacebook、HPにて。ご意見、ご感想などメッセージ頂ければ励みになります！



吉田どう議員活動ダイジェスト



平成28年

4月 お花見や各団体の総会が続きます。宗像大社の春季大祭や入学式といった1年の始まりを告げる行事に参加すると初心にかえり、身が引き締まります。

5月 GWはサニックスラグビーワールドユースや玄海ジュニアラグビークラブの合宿、前座試合とラグビー尽くし。ユリックスの24時間駅伝や運動会（のテント立て）と体をよく動かしました。
＜大学生、留学生、企業の方などが一緒になって、宗像市の国際交流やグローバル人材の育成などについてワイワイ語り合う「グローバル・ネットワーク座談会」＞に参加して気軽にグローバルを感じる楽しいイベントを企画します。

6月 定例会が開催されました。補正予算では平井山西側の文化財調査事業費に関して、調査のための伐採以上の大規模なもののなので、その基準や災害の恐れ、対応を質疑しました。平井山開発工事に関しては安心安全と景観の両面で注視し続けます。

